

すべての大宗教の典には、神の全能性についての一般的な概念がされています。かれはあらゆるものよりも大であり、かれによってあらゆるものは可能になる、とされます。この一般的な概念が 践に移されるのであれば、まず神の基本的な特性を め、理解しなければなりません。大多数の社会において、神は永久なる存在であり、始まりも わりもない者であることを めています。では、神にとってあらゆることが可能であることを踏まえ、神は死ぬことがあるのかと かが したとすれば、それに する答えは何でしょうか？死ぬことは「あらゆること」の一部に含まれるため、「もしもかれがお望みであれば」と答えるのでしょうか？もちろん、それは不正解です。

ここで が 生じます。神は不死であると定 され、 りのない存在であり、死ぬことは「わりが来る」ことを意味します。 って、かれが死ぬことが可能であるかどうかを うことは、 には 意味な なのです。それを自己矛盾しているからです。同 に、神が生まれるかどうかを することも、かれは永久なる存在であり、始まりがないことから不合理な なのです。生まれるということは始まりを持つことであり、存在しなかった状 から存在するようになることを意味します。同じような文 から、神 の哲学者たちは有神 者にこう ねます：「神は自分でも持ち上げられないような重い石を ることが出来るでしょうか？」もしも有神 者が「はい」と答えれば、それは神は自分よりも 大なものを りだすことが出来ることになってしまいます。そしてもし彼が「いいえ」と答えれば、神は全能ではないということにされるのです。

って、「神はすべてのことに全能であられる」というフレ ズの中の、「すべてのこと」という言 は不条理さを排除しているのです。そこには、神の性 に矛盾すること、つまり忘却や睡眠、悔悟、成 、食事などの、かれを神以下の存在にするものが含まれる余地がありません。その代わり、そこにはただかれが神という存在としての首尾一 した「すべてのこと」のみが含まれます。これが「神はすべてのことに全能であられる」という既述が意味するところなのです。それは 的な意味としてではなく、条件付きで理解されなければならないのです。

神が人 になったという主 もまた、不条理なものです。神が人 の特 を持つようになるということは、神が自らの 造物になることを意味するため、神という存在に似つかわし

くありません。造という行は、造者による作の物です。もしも造者が自らの造物になったのであれば、それは造者が自らをり出したことになり、明らかに道理に反します。被造物となるには、まずその前に存在しなかったことになるでしょう。存在しなかったのであれば、いかにして造ることが出来るでしょう？さらに、もし彼が造されたものだったのであるとすれば、それはかれに始まりがあったということになり、かれの永性に矛盾が生ずることにもなります。定上、造には造者が必要とされ、造された存在は、その存在のために造者によって存在をもたせられる必要があります。神は造主であり、造者を必要としないため、そこには明白な矛盾が生じます。神がその造物になるという主には、かれ自身に造者が必要になるという概念を意味します。それは神が造主であり、造される必要がなく、被造物ではないという基本的概念に反します。

人は神となれるのか

人は有限の存在（被造物）です。人は生まれ、かつ死にます。これらの特性を神に当てはめることは、それによって神とその造物を同等のものとするため、可能ではありません。って神はして人となることはなく、去にそうになったこともないのです。一方、人も神となることは出来ません。被造物がその造主になるということはありません。被造物には存在しなかったがあります。被造物は、常に存在する造主による造という行によってその存在をもたせられたのです。存在しないものが自らを造することは出来ません。

その似概念である、人の魂に神性があるという主は、人が神になれるということの意味しています。こういった哲学はギリシャ、キリスト教、ムスリムによる神秘主だけでなく、またヒンズ神学の基をもいており、すべての人のみならず、合によってはすべての生物にその神性を与えるのです。それは宇宙の史におけるある点で、神の破片が物的肉体によって包され、地上にじめられた、という前提で始まります。の表をすれば、永性が有限性によって封じめられたことになります。こういった信条は神にという性を付属し、善との意味を完全に除去してしまいます。人の魂がを意し、神のしによってそれを行したのであれば、そういった行はを受けるにふさわしいです。それ

ゆえ、???

() という概念が されたのです。つまり自 自得の 念です。不可解な苦しみは前世の 行
による 果であると??

は 明します。神はいかなる であれ、最 的には人 の内に潜む神性によって、その体の部
位によって を与えますが、人の魂が神からは独立した意志を持っているのであれば、
同 に神であることは不可能なのです。したがって、人 はそれぞれが神となる、とされ
ているのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/578>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。